

新ルールに関する主な遵守事項 <全カテゴリー>

ユニホーム

■ 背中のネームは、ブロック体を用いた大文字のローマ字で、肩の高さでジャージの背側に横向きで高さ 10 cm（4 インチ）の文字で「自分の姓」を正確につける。【新ルール第 9 条 2】【2023 春シーズンから採用とする。】

※ネームを隠す場合は、同系色の布を縫い付けること。（テープ使用は不可）

■ ジャージの背中のネームプレートや番号が見えなくなるほど髪の毛が長いプレイヤーは、ポニーテールにするか、ヘルメットの下に髪の毛を入れなければならない。

■ ユニホームに、挿入物や追加的な細工を加えることはできない。

→ユニホームの上にリストバンド等一切つけられない。

→ストッキング上のテープは透明がよい。ストッキングのデザインと違う色のテープや巻き方は認められない。ストッキングに使用されている色をまたいでテープを巻く場合(クロスさせる等)は、透明テープのみ使用できる。ベルクロタイプのバンドも同様とする。

■ ジャージは完全にパンツの外側に着用し、タイダウストラップで常にパンツに適切に固定しなければならない。

→警告後に従わなかった場合、マイナー・ペナルティが科される。（デレイ・オブ・ゲーム）

※タイダウストラップについて、猶予期間を設ける。【猶予期間については確定次第通知する。】

保護具

■ グローブ、ヘルメット、マウスガード、首・のど用プロテクター、ゴールキーパーのレガース以外の保護具はすべて、ユニフォームの下に着用しなければならない。

→ジャージに覆われていないエルボーパッドなどはペナルティの対象となる。

■ 「試合前のウォームアップ」中も、保護具を完全に着用しなければならない。

■ 「お守り」をつける場合は、パンツ等の中に縫い付けて着用すること。防具等の外につけることはできない。

■ ヘルメットが脱げ落ちた場合、直ちに氷面から退出しなければならない。ヘルメットを回収して頭に戻すことは認められない。プレイヤーズ・ベンチに向かい、氷面から退出しなくてはならない。 →マイナー・ペナルティ(イリーガル・イクイップメント)

■ あごひもが外れたがヘルメットが頭上に残っている場合、次の試合中断または氷上から退出するまでプレーを続けることができる。

マウスガード

■ マウスガードは衝撃から歯を守るために設計されているものであること。

■ 試合中の不装着・不完全装着は警告なくペナルティ対象とする。 →ミスコンダクト・ペナルティ

■ 全国大会では色の制限がある。（単色透明・肌色・白色以外のもの）

「首・のど用プロテクター」「耳あて」（男子 U20、女子） ※U20・・・ジュニアのすべてのカテゴリーを含む

■ 「首・のど用プロテクター」、ヘルメットに取り付けられた「耳あて」を装着しなければならない。耳あてを外したまま試合に参加することは認められない。（成年試合に出場の場合も適用）

※男子 U20 の適用開始日 適用については、準備期間を考慮し、日ア連主催大会、全国大会、全国大会予選等は、「令和 4 年 8 月 1 日」から実施予定。（東京もこれに準ずる。）